

楽通信 166

tanotsuushin

発行元



一般社団法人倫理研究所
福岡県 福岡市那の津倫理法人会

事務局

〒813-0004
福岡市東区松香台2-10-43-101
TEL:092-692-7335
FAX:092-692-7433
<http://www.rinri-fukuoka.jp/>



福岡市那の津倫理法人会の皆様
いつも、倫理活動にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

12月19日(金)～21日(日)の3日間、倫理研究所富士高原研修所にて、経営者倫理セミナーに参加させていただきました。新たな自分を発見する実践の連続！キビキビとしたセミナーの流れるような時間配分、その実践内容がとても素晴らしく、生き生きとした体験ができました。「企業経営は、心の持ち方、物事の捉え方ひとつで成功の道が広がる」といえます。

セミナーの進行役の研究所のスタッフ(講師・進行役)の「参加者ひとり一人に向けて」、余すことなく研修の成果を持ち帰れるよう、真剣に「細やかにつなぐ」気持ちを至るところで感じさせていただきました。

「あたりまえだけど新しい！」いつも一瞬一瞬、一生懸命。毎回、会の初めに唱和する、セブンアクト。その時のリーダーの文頭に続いて全員で心そろえて続いて斉唱します。「一人ではない、一緒の空間にいる仲間、社員、家族と波長をそろえる為の実践体験」何度も8人のチームがそれぞれの場所で声を出して練習を重ね、「気をつけ、礼、ありがとうございます。」真のチームワーク作りは、企業の組織づくりと密接な関係だと気づいていても構築するのは難しいと感じるものです。

倫理研究所富士高原研修所で初めて出会った仲間が、8人ずつに分かれチームとなります。講師から「足元も含めた姿勢、声、礼の角度、目線、一礼の後の体を戻すタイミング」8人がピタッと会ったところで合格を頂きます。また、印象的な研修内容に、「恩を感じる」があります。

「恩」実践を通じて、自分の本を振り返り、これまで「自分の力で生きている」から「生かされている」というマインドへの変換を学びました。

その終盤の研修が暗い足元の玉砂利の路を裸足で「ミシッ、ミシッ」と音を響かせながら歩き、到達したあと、その場で座禅をしました。裸足で感じた痛みは親が生んでくれた時の腹の痛み、玉砂利の上で正座して見える顔は、これまで生かしてくださっている、感謝を伝えたい人の顔、いつの間にか、頬から流れる涙に気づきました。

富士の袂、大自然から湧き出る、朝焼け、光、虹。素直純粹そのままが一番よい。

研修の最後には「渡したい相手に手紙を書く」でした。完成した落ち着いた気持ちで富士山を後にしました。(⇒富士研参加の様子は次ページに掲載！是非ご覧ください!⇒)



福岡市那の津倫理法人会
会長 福井 富士子



2026年1月 経営者MS
《他単会講話情報》

2026年1月「経営者 モーニングセミナー」朝6:00～7:00

7日(水) 講話:「年頭抱負」
講師:福岡市那の津倫理法人会 役員

14日(水) 講話:「夫婦対鏡」
講師:福岡市倫理法人会 監査
アイケンテック(株) 代表取締役 井手 謙一氏

21日(水) 講話:「目標は高く、実践は足下から」
講師:(一社)倫理研究所
名誉研究員 内田 文朗氏

28日(水) 講話:「友永相談役に思いを馳せて～
那の津モーニングセミナー」
スピーチ:福岡市那の津倫理法人会 役員

モーニングセミナー会場
福岡サンパレス
福岡市博多区築港本町2-1
Tel:092-272-1123
福岡サンパレス駐車場
(駐車代無料)

モーニングセミナー終了後は、
朝食会を開催します。
朝食会は学びを深め、情報交換、
交流をはかる場所です。
是非、ご参加ください

- ◆1月13日(火)
筑紫野市倫理法人会
王 愛 監査 講話
筑紫野市商工会
(筑紫野市湯町3-2-5)
- ◆1月13日(火)
福岡市倫理法人会
村山 よう子副地区長 講話
ホテルクリオコート博多
(福岡市博多区博多駅中央街5-3)
- ◆1月30日(木)
大野城市倫理法人会
村山 よう子副地区長 講話
南福岡自動車学校
(大野城市下大利3-2-20)

倫理経営基礎講座
時間 18:00～19:00
会場 アルコラボ(福岡市東区若宮4-20-35)
テキスト:第17講 実践の要件
講師:(一社)倫理研究所 名誉研究員 内田文朗氏

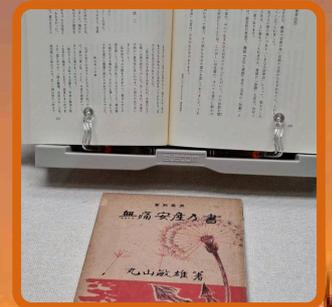
「倫理学習会」
時間 19:00～20:00 学習会
20:00～21:00 意見交換
会場 アルコラボ(福岡市東区若宮4-20-35)
会費 800円 **ゲスト参加大歓迎!!**



令和8年度 富士高原研修所 「経営者倫理セミナー」

2025.12.19～21

本(かし)を深(かし)し
て世(かし)した



福岡空港出発



富士の袂



大自然から湧き出る、朝焼け、光、虹
POWERをいっぱいいただきました!!

初めて出会った仲間との絆



那の津の仲間と一緒に



丸山講師と共に



夢の実現へ、裏方として貢献したい。

——人と会社に寄り添うということ。

中小企業や個人事業主の「困りごと」を、攻めと守りの両面から支えている株式会社みちプロ。目の前の仕事を通じて、相手が本当に必要としているものを見極め、必要な“分量だけ”を丁寧に届ける——。その姿勢の根底には、宮下幸也さんが歩んできたキャリア、働き方、そして“人へのまなざし”がありました。

今回は宮下さんに、これまでの道のりと、これからの思いを伺いました。

「一緒の方向を向けない」 転機になった監査法人時代

大学卒業後に進んだ監査法人では、上場企業の数字をチェックする専門性の高い仕事に携わりました。しかし「クライアントと同じ方向を向いて成果を喜ぶ」関係ではないことに、大きな違和感を覚えました。企業価値の向上に直接関わらず、役割が限定された環境では自分のエネルギーが湧かない——。その感覚が、後のキャリア転換を決定づけた大きなきっかけになりました。

夢を持つ人の“足りないところ”を埋める裏方でいたい

大切にしていることは「夢を持つ人の不足を補う裏方でいる」という姿勢です。家事代行のパートで働く母、飲食店で働き詰めの友人、キャリアに悩む同級生など、支えたい人は多くいますが、力がなければ手を差し伸べることはできません。そこで、自ら無人店舗の運営に挑戦し、実体験を積みながら支援の幅を広げています。“実践者として支える”ことが、目指している姿です。

攻めも守りも、“ちょうどいい分量”で届ける仕事

監査法人を離れた後、マーケティングのフリーランスやコンサルファームを経験し、中小企業・個人事業主に必要な支援の形を改めて学びました。大企業向けの戦略は重すぎ、中小企業・個人事業主には大きすぎる。だからこそ「攻め（マーケティング）」と「守り（経理・事務）」を、その会社の規模に合わせた“最適な分量”で提供しています。過不足のない支援こそが、中小企業・個人事業主を支える上で自分が大切にしている価値観です。

那の津に“求めたもの”と、 これからの学びへの期待

那の津倫理法人会との出会いは、娘の保育園の園長先生、福井会長でした。園の取り組みに感じた熱量の源に倫理の学びがあると知り、興味を抱きました。若い世代の多いウェブ業界ではスキルに偏りやすく、人生や経営の土台となる考え方を学べる場を求めて入会を決断。経験豊かな年長の経営者と関わる時間に大きな価値を感じており、ここから学びを深めたいと思っています。



PROFILE

株式会社みちプロ
代表取締役



宮下 幸也
Miyashita Yukiya

熊本県出身、福岡市在住。

京都大学経済学部で学び、
公認会計士試験に合格。

監査法人へ入所後、マーケティングフリーランス、
コンサルファーム勤務を経て独立。

中小企業・個人事業主を“最適な分量”で支えるバックオフィスパートナー。

「夢を持つ人の“足りないところ”を補う裏方でありたい」が仕事の軸。



「夫婦愛和！一緒に知る会に参加しました！」（中央:会場をいつもこころよく提供してくださる金川俊一相談役）



社名の「みちプロ」から伺える“その道のプロ”として活躍する方を応援する！という、信念。出会いは人生の招待状。心の捉え方を共に学び、希望に溢れる毎日を一步一步進みましょう。

紹介者の
福井 富士子 会長